

八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成29年 2月

工場棟の建物地上部分の解体が完了しました

工場棟については、建物地上部分の解体が完了しました。下の写真は建物地上部分の最後に残った箇所を解体している様子です。館清掃事業所の事務所棟（操業中）に非常に近接した箇所での解体作業であったため、事務所棟側へ壁や柱が倒壊したり、破碎したコンクリート片が飛散することが絶対ないように、細心の注意を払って解体作業を実施しました。



工場棟の地上部分の解体が完了した様子です。今後は引き続き地下部分に残っているコンクリート構造物や建物基礎を解体していきます。



煙突脇の汚染土壌の掘削除去工事を実施しました

煙突脇の地面は、鉛及びふっ素について土壤環境基準を超える区画が確認されており、土壤汚染対策法による形質変更時要届出区域に指定されています。そこで対象区画の汚染土壌を除去する工事を実施しました。

煙突脇の土壤汚染区画は縦10m×横10mの範囲で、この範囲の土砂を深さ2mまで掘削して除去しました。重機と人力による掘削作業を実施して、ダンプトラックに直接積み込みをおこなって、汚染土壌処理業の許可を持つ再生プラントへ搬出しました。搬出した汚染土壌は、この再生プラントにおいて汚染物質の浄化処理をされ、他工事等で再生利用されます。



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成29年 3月

工場棟の建物地下部分の解体をおこなっています

工場棟については、建物地上部分の解体が完了し、地下部分にあるコンクリート基礎や地中梁の解体を開始しました。



工場棟地下部分の解体を進めている様子です。今後も引き続き地下部分のコンクリート構造物や建物基礎を解体していきます。



煙突脇汚染土壌除去後の水質分析を実施しました

煙突脇の地面については、対象区画の汚染土壌除去が完了したので、事後調査として地下水調査を実施しました。対象区画において深さ12mの観測井戸を設置し、市環境保全課の立会のもと地下水を採取して、水質分析をおこないました。分析の結果、対象汚染物質が環境基準値以下であり安全であることを確認しました。

